

創立百年に寄せて

第二十二代 土 山 喜 英

京三中・山城高同窓会関係者の皆様、創立百年まことにおめでとございます。また一世紀という長きに亘り、常に府民の皆様に見られ期待されてきた地域の中核校である山城高等学校の発展に寄与されると共に、各界各分野でご活躍の同窓会の皆様様に心より敬意を表するところであります。

私にとりましては、山城高等学校百年の歴史ではんの一瞬（四年間）ではありましたが、ハード・ソフト両面から新しい時代の教育基礎づくりに教師生活の総仕上げとして参画できましたことを、この上ない喜び・誇りとしております。

日常の教育活動が続けながらの校舎改築には、数々の支障を伴いましたが、在校生・保護者・教職員をはじめ多くの関係者には今日的な教育施設の整備に積極的にご協力をいただき、感謝を申し上げます。とりわけ京都府の財政事情の厳しいおり、

同窓会や地元関係者の山城高校の教育に対する熱い思いを府議会会で受け止めて頂いた結果、N館の一部とW館、体育振興施設、プール、食堂については改修となりましたが、明るく楽しいと安らぎのある学び舎が創立百周年を前に完成しましたことは大変ありがたく、更なる百年に向けての礎として活用して頂けるものと思っております。この素晴らしい教育環境をフルに活用してやすらぎ・まごころ・しんじつ・ろまんを大切に国際社会に雄飛する若人が巣立つことを期待しています。

在任中は、「生徒には学不喜び・楽しさを体得させる学校、保護者には安心して教育を任せられる学校、教職員には働き甲斐のある学校、地域社会には開かれた学校」となることを提唱し続け、新たな教育実践に挑戦するシステムの構築に専念してきましたが、ようやく成果が芽生え始めたようです。

明治以来の我が国の教育は、今日の繁栄・発展の基礎として大きな成功を収めました。現在の、特にアジア近隣諸国での高等教育改革の急速な進展をみえますと、二十一世紀は「知識基盤社会」の時代として、我が国の持続的な発展のために教育改革が必要となってきました。

しかし教育改革にあつては、闇雲に変化を競うのではなく、不易流行を念頭に百年の大計を持って臨んでいかねばなりません。いつの世にあつても校歌の一節に「正義 真実 責任の

命みなぎるわれら山城」と歌い継がれて来た伝統を基軸として「平和 協力 友愛の光あまねきわれら山城」を大切にしていきたいものです。長年築かれた慣習も前例主義ではなく善例を選択してリメイクしていくエネルギーこそが時代と教育を革新していく原動力となるものだと思い、「山城」の更なる発展を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。



山城 14 回 岡本通雄